

コスト以外の効果の評価手法（素案）

割高であるが、他の点での有効なものを活用・普及させるためのコスト以外の効果の評価する手法として、どのような手法がよいか。また、どのような評価項目が必要か

1. 評価手法の例

- ・ 定量的手法
- ・ 定性的手法

2. 評価項目（案）

(1) 直接工事費

- ・ 仮設費や冬期養生、産廃処分費の縮減
- ・ 工期を適切に評価することにより交通誘導員、現場管理費等の縮減 など

(2) ライフサイクルコスト等

- ・ 標準化による設計コストの縮減や、品質向上による維持管理コスト縮減 など

(3) 社会的コスト等

- ・ 渋滞による経済損失縮減、工期縮減による早期の効用発現、労働災害防止効果、リサイクル材活用による環境保全効果（CO2 排出量など）、工事中の騒音・振動低減 など

(4) 省力化

評価項目・指標と算出方法の例

	項目	指標	算出方法
工事費	直接工事費（労務費、材料費、機械経費）※産廃処分費などを含む	金額	歩掛
	間接経費（共通仮設費等）	金額	積算基準
	※仮設費や交通誘導員等への工期の反映	金額	（適正な工期の算出方法）
ライフサイクルコスト	設計費	金額	歩掛
	維持管理費	金額	コンクリート標準示方書 ミニマム・メンテナンス橋（土研）等
社会的コスト	渋滞による経済的損失	金額	費用便益分析 等
	早期供用による効用発現	金額	費用便益分析 等
	労働災害防止	発生確率	（貨幣換算方法） ※交通事故損害経済分析など
	環境保全（リサイクル材活用等）	C02 排出量 など	（貨幣換算方法） ※貨幣価値原単位
	騒音・振動低減		
その他	省力化	人 / 構造物	※同じコストであれば省力化効果の高いもの